

SHAKAI FUKUSHI HOUJIN

SEIKOUEN · 50th

ANNUAL REPORT

2025

REIWA 7 | 令和7年度

事業報告

発信から発進へ ― つながり広がる未来づくり

社会福祉法人 清光園

Yubari city, Hokkaido

MESSAGE | ご挨拶

50周年の節目に、新たな一歩を。

令和7年度、当法人は**設立50周年**という大きな節目を迎えました。
半世紀にわたり当法人を支えてくださった夕張市の皆様、関係各位に深く感謝申し上げます。

この記念すべき年に、私たちは過去の歩みを礎としつつ、厳しい社会情勢に立ち向かうための**「新たな一歩」**を踏み出しました。

50周年の式典・祝祭はゴールではなく、未来へ向けた**「発進」**の合図です。
清光園の新たな挑戦に、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 清光園

理事長　中條 俊博



CONTENTS | 目次

令和7年度 事業報告 全体構成

01
法人全体の総括
50周年・理念刷新・SDGs・発進

02
理事会等の運営
理事会・評議員会・監査の状況

03
特別養護老人ホーム清光園
稼働率97.0% / 知ることから始める

04
グループホーム まどか
稼働率98.6% / 認知症ケア・地域連携

05
デイサービスセンター すずらん
登録53名 / オレンジカフェ・作品作り

06
シルバー共同住宅 陽光
18部屋中2部屋空室 / 待機7名

07
清光園 居宅介護支援事業所
月平均163名 / 法人連携を強み化

08
Lien Village なんそら
新拠点開設・地域カフェ・栗山町

09
総括・次年度へ
成果と課題、令和8年度へのつなぎ

CHAPTER

01

法人全体の総括

Holding Foundation Overview

YEAR THEME

発信から発進へ
つながり広がる未来づくり

KEY HIGHLIGHTS | 令和7年度の重点

5つの「新たな一歩」

01 **50周年記念式典・祝祭の挙行**
半世紀の歴史を地域と分かち合う貴重な機会

02 **経営理念の刷新**
「人をつなぐ、こころをつなぐ、みらいへつなぐ」

03 **清光園版SDGsの策定と実践**
持続可能な地域社会のための独自指針

04 **栗山町に新拠点「Lien Village なんそら」**
地域カフェ＋デイサービス＝多世代交流の場

05 **福祉キッチンカーの導入**
災害時の炊き出し体制を構築、地域を守る砦に

50周年記念式典・祝祭

1975→2025



50周年祝祭 ～ 職員一同、半世紀の感謝を込めて

CELEBRATION

半世紀の感謝を、地域と分かち合う。

これまで当法人の歩みを支えてくださった地域の皆様、ご家族、そして多くの関係者の方々をお招きし、設立50周年を祝う記念式典ならびに祝祭を執り行いました。

半世紀にわたるご支援への深い感謝をお伝えするとともに、清光園が地域と共に歩んできた歴史を分かち合う貴重な機会となりました。

SINCE

1975 - 2025
50th Anniversary

SECTION 02 | 法人全体の総括

経営理念の刷新

新しい言葉に込めた決意

— NEW PHILOSOPHY —

人をつなぐ こころをつなぐ
みらいへつなぐ

夕張の未来のために今できることに精一杯取り組む決意を、
この新しい言葉に込めました。

誇りを持ち、知識と技術を高める ／ 利用者を尊重し、ニーズに寄り添う ／ 笑みとやさしさを絶やさない ／ 協調性をもって行動する ／ 地域とともに未来を育む

SECTION 03 | 法人全体の総括

5つの柱

SUSTAINABLE / SOCIAL / SAFE

01 よりよい介護の実現

- 身体拘束ゼロ・尊厳の確保
- 生活リズムシートを活用した個別アセスメント
- 看取り・認知症ケアの満足度向上
- 多職種連携の徹底

02 心に寄り添う食の探求

- 四季のメニュー・イベント食
- 嗜好・食事制限に応じた工夫
- ソフト食の開発に挑戦
- フードロス削減

03 安心して働ける職場

- OJT研修・資格取得支援
- ICT化による生産性向上
- シニア世代の継続雇用
- 多様性（外国人・LGBTQ+）尊重

04 環境と働きやすさの両立

- 節電・節水を習慣化
- 介護ロボット・補助金活用
- 業務効率化の年次計画
- 負担軽減型設備の導入

05 未来へつなげ地域を支える

- 地域行事・職業体験の受入れ
- キッチンカーで炊き出し支援
- 子どもへの福祉教育
- 世代を超えた交流

持続可能な地域社会の実現に向け、法人独自のSDGs指針を策定 ～ 一人ひとりの行動が未来を育てる

SECTION 04-05 | 法人全体の総括

「発信」から「発進」へ

— 地域の未来を創る具体的な発進の取り組み



DESTINATION 01

栗山町に新たな拠点

機能訓練を強化した**「デイサービス」**と、誰でも気軽に立ち寄り憩いの場として利用できる**「地域カフェ」**をオープン。

孤立を防ぎ、多世代が交流する「つながりの場」となっていきたい願いを込め、
『Lien Village なんそら』と命名しました。



DESTINATION 02

福祉キッチンカーの導入

50周年記念事業として「福祉キッチンカー」を導入し、万が一の**災害時の炊き出し体制**を構築しました。

法人内事業所が協力し、夏まつり等での出店も実施。
地域を守る砦としての機能を強化しました。

CHAPTER 02

理事会・評議員会・監査の状況

GOVERNANCE

理事会	評議員会	監事監査	選任解任委員会
7回	5回	4回	1回
理事5〜6名・監事1〜2名出席	評議員5〜7名・監事2名出席	決算＋四半期ごとの随時監査	外部委員3名・内部委員1名

主要議案・取り組み事項

- 令和6年度事業報告・決算報告の承認、令和8年度事業計画・収支予算の策定
- Lien Village なんそら改修工事契約の変更（増額）、設備整備
- 経理規程・公印規程・給与規程・福利厚生規程の改正
- 岡崎元理事長・北洋証券に対する損害賠償請求の議決
- 理事・監事・評議員の改選に係る選任、評議員選任・解任委員会の開催
- ポジティブインパクトファイナンスの活用による資金借入
- リフト付きシャワーキャリーの購入・整備、夜警員業務の見直し
- 会社役員賠償責任保険の加入、Lien Village なんそら就業規則の制定

NOTE

北海道指導監査　ガバナンス強化と透明性の確保を継続。法人本部による各事業所の指導体制を再整備し、規程改正と監査運用の標準化を進めています。

CHAPTER

03

特別養護老人ホーム清光園



特別養護老人ホーム清光園

「知ることから始める」

入居者一人ひとりの生活に寄り添い、職員が安心して働き続けられる環境づくりを両立。

OCCUPANCY RATE | 年間稼働率

97.0%
特養（102名／日）

87.1%
短期（6名／日）

96.4%
合計（108名／日）

本年度の主な取り組み

01 **個別ケアの推進**　生活リズムシートを活用し、多職種の情報共有でアセスメント充実

02 **食の企画「まさくんの日」「誕生日会」**　ユニット単位の食事企画と毎月の誕生日会を継続実施

03 **人材育成**　ユニットリーダー研修2名参加

04 **地域連携**　町内会ゴミ拾い、衣類訪問販売など、地域に開かれた施設を実践

心に寄り添う、食と暮らし

DAILY LIFE


まさくんの日


誕生日会


夏のそうめん流し


まぐろ行事


自然を楽しむ


感謝を紡ぐ母の日


音楽を感じる


日常の風景

まさくんの日

FOOD AS HOSPITALITY

「まさくんの日」　ユニット単位の食事企画を毎月実施。ライブ感のある食事提供で、皆さんの食欲を刺激します。

「誕生日会」　誕生月の入居者とご家族を招き、調理師手作りのバースデーケーキで、思い出づくりの機会を提供しました。

人材育成と地域連携

PEOPLE & COMMUNITY

PILLAR 01

誰もが成長し、
安心して働ける職場づくり



▲ 北海道介護福祉学校実習生受入れ



▲ 褥瘡予防・身体拘束廃止に関する勉強会

ユニットケアの理解深化 ― リーダー研修への参加2名
SNS（Facebook・Instagram・X）で職場の魅力を発信
新人職員には育成専属職員のもとで基本知識・技術を学ぶ体制
リフト付きシャワーキャリーの導入で負担軽減

PILLAR 02

未来へつなげ、地域を支える



▲ 衣類販売の実施



▲ 第2水曜日の町内会ゴミ拾い

地域イベントへの参加・園内行事への地域招待
子どもたちへの福祉教育、世代を超えた高齢者との交流
買い物困難な方への衣類・食品の訪問販売を実施
町内会ゴミ拾いで地域貢献と関わりを強化

GROUP HOME

まどか

在宅係長兼管理者 佐藤 美加子 ／ 管理者 佐藤 克美

ANNUAL OCCUPANCY | 年間稼働率

98.6%

TARGET 96.0%
+2.6pt 達成

NEW
10名
在宅5 ／ 病院・老健3 ／ 陽光2

DISCHARGED
10名
病院4 ／ 清光園4 ／ 他施設1 ／ 死亡1

共用型デイサービス
72.7%

目標75%に対し2.3pt届かず。毎日利用の方が入居になる等の動きで、
現在は要介護3の3名で稼働中。

CHAPTER
04
グループホーム
まどか



CHAPTER 04 | グループホームまどか

地域とのつながりを大切にした運営

COMMUNITY TIES



EDUCATION

認知症キッズサポーター講習

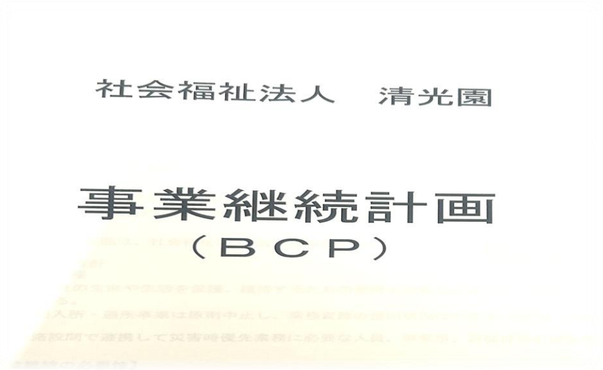
ゆうばり小学校5年生へ講師として訪問。「認知症とは何か」「対応方法」「子どもたちにできること」を説明し、子どもの正しい理解と思いやりを育みました。



DEMENTIA CAFE

オレンジカフェ毎月開催

毎月第2土曜日、すずらんを会場に特養・すずらん協力で開催。**毎回30名程度**の地域住民・家族が参加。認知症理解と地域とのつながり強化に。



DISASTER READY

防災への取り組み

運営推進会議で消防関係者から防災講話・助言を受領。BCP委員会・職員研修を実施し、災害時の対応力強化と防災意識を高めています。

SAFETY UPDATE

事故再発防止設備改善報告

トイレ内転倒事案を受け、グループホーム内トイレ一枚ドア**5か所**に鍵付き点検口を設置。令和8年3月末までに工事完了（総額150,000円）。**入居者様への混乱なく経過。**

CHAPTER 04 | グループホームまどか

入居者様の暮らしを支えるケア

EVERYDAY LIFE









CARE PHILOSOPHY

食べたいものを、
食べたいときに。

①	**拘束しない支援**	委員会の開催・内部研修を実施
②	**多職種の協力**	細やかな連携で共同ケアを実践
③	**季節の食材を活用**	その時の旬を、旬なうちに
④	**入居者様の意見を反映**	さんま・焼肉、決めたら実行
⑤	**特別な日の演出**	誕生日や敬老の日は特別に

EVALUATION

令和8年3月 外部評価・運営指導ともに指導項目なしで終了。地域とのつながりを意識した運営が確認されました。

CHAPTER

05

DAY SERVICE

すずらん

地域とのつながりを深め、
地域と共に成長する事業所へ。

THEME



ご利用者・ご家族・職員がいつまでも笑顔でいられる環境を目指し、千羽鶴の共同作品にもこのテーマを掲げています。

年間実績サマリ

OCCUPANCY
87.3%
年間稼働率

REGISTERED
53名
登録者人数

AVG CARE LEVEL
1.6
平均介護度

NEW / CANCEL
24名 ／ **20名**
新規登録　登録中止

評 価

年度途中より入院者の増加と、それに伴う利用中止者が多くおり、稼働率が下がり目標数値の達成には至りませんでした。今後は早期相談からの新規利用獲得と、地域カフェ的な集いの場づくりを継続強化していきます。



FOOD HIGHLIGHT

厨房内調理で食欲がそそる

調理音やにおいで昼食が楽しみになったとご利用者から声が上がっています。

活動の風景 — 食、作品、交流

ACTIVITIES



01. FOOD

食の楽しみ

厨房内調理で香りと音が食欲を刺激



02. CRAFT

作品作り

手芸の作品はお持ち帰り
「家に飾ってる」



03. COMMUNITY

オレンジカフェ

毎月開催、地域30名前後が参加



04. TOGETHER

共同作品「笑」

折り紙の鶴で作る、皆の笑顔のシンボル









住み慣れた地域で、
自分らしく暮らせる住まいを目指す

CURRENT STATUS | 入居状況

16 / 18
居室入居中（空室2部屋）

7名
待機者人数

7名
退去者（年間）

ONE-STOP SERVICE

法人連携で安心の暮らし

2名 ワンストップで
まどか入居へ

活用 体調不良時には
特養ショートも

現在の取り組みと今後の課題

取り組み中
居室内の照明整備／天井壁紙修繕

今後の課題
夏場対策／デイへの通路の暖房

CHAPTER

06

SILVERHOUSE

陽光

家庭菜園と花畑づくり ― 季節を感じる暮らし



楽しく、元気に — 四季の記録

SEASONS



春 SPRING

花畑づくりの挑戦

水やりや草むしりに苦労はしましたが、
立派に花が咲きました。
日々の手入れが実を結び、色とりどりの
花が庭を彩っています。



夏 SUMMER

外出支援 回転すし

「お寿司行ってみたいね」の声があり、
岩見沢の魚べいへ。
何が食べたいか確認すると、
真っ先に出る言葉は**「お寿司」**です。



秋 AUTUMN

紅葉見学 滝の上

10月26日、紅葉の名所「滝の上」へ。
一つでも多くの思い出を残せるよう、
外出行事を季節ごとに実施しました。



冬 WINTER

もちつき 忘年会

冬場は外に出るのが難しいので、
室内でもちつきや忘年会を実施。
職員も一緒に楽しみました。

ANNUAL EVENTS　**4/27** 外出支援（魚べい） | **5/11** 桜見学 | **6/27** BBQ | **10/26** 紅葉見学 | **12/20** 忘年会 | **毎月** 誕生会

CHAPTER 07

清光園 居宅介護支援事業所

早期相談から対応し、地域から頼られる事業所を目指して。

CARE MANAGEMENT

MONTHLY AVERAGE | 月平均受託

163名

CARE
127名
要介護

PREVENTION
36名
介護予防

NEW USERS
53名
新規利用者
うち栗山町 7名

DISCHARGED
22名 施設入居
14名 死亡
清光園10／まどか5／他施設7

CONSULTATIONS
64件
事業所への相談
うち栗山町 11件

法人の強みをアピールし、稼働率向上に貢献

市内で入居可能な施設が特養に限られる状況のなか、法人内のデイサービス（すずらん・なんそら）やショートステイを活用し、緊急時にも柔軟に対応できる体制を積極的にアピール。その結果、**特養およびGHまどかの稼働向上**につなげることができました。

入院時情報連携加算
40件取得

通院時情報連携加算
10件取得

特定事業所加算II
週1回の定例会議で継続維持

DEVELOPMENT

eラーニング導入

本年度は研修システム eラーニング を導入。各介護支援専門員が業務状況に応じて受講でき、適正な運営の確保と専門性の向上を図ることができました。

ヤングケアラー・障害者・生活困窮者・難病患者等への支援知識を強化中

REGIONAL ROLE　介護保険請求に至らない日常的・継続的な相談にも真摯に対応。地区民生委員・医療機関・地域包括支援センターと連携し、**地域から信頼される事業所**を目指して活動しました。



CHAPTER 08

LIEN VILLAGE

なんそら

栗山町 新拠点 OPENED

開設初年度 — 基盤づくりの一年

5/15 - 17

278名

内覧会来館者数

3日間の内覧会で地域からのご来館

5/23

134名

オープニングセレモニー

行政・地域住民・ケアマネ等が出席

6/23

OPEN

デイサービス開設

栗山町利用者は定員の6割程度まで増加

地域カフェを併設した特色を活かし、一人ひとりに寄り添い**「また来たい」**と思っていただける環境づくりに努めた一年。
短時間利用などの柔軟な対応や個別性を重視した結果、年度後半にかけて利用者数が増加しました。

CHAPTER 08 | Lien Village なんそら

地域カフェ — 開かれた交流の場

LOCAL CAFE

5/24 OPEN | 年間ランチ提供数

3,071 食

1日平均 **16.3** 食 — 目標**15食**を上回る結果









VISITORS

幅広い世代が集う

高齢者にはやさしい味付け・やわらかさを、働く世代にはボリュームと提供スピードを意識。**栗山町産ななつぼし**を使用した日替わり定食を提供し、デイ利用者と地域住民が同じ空間で食事を楽しめる交流拠点に。

SHOP

売店：地域の魅力発信

栗山町産米やハンドメイド作品を取り扱い、要望を取り入れた菓子類を販売。

毎週月・木：おしゃべりサロン（栗山町消費者協会主催）／**8月：**睦町内会の周年イベント／**夏まつり：**清光園キッチンカー出店

カフェが介護サービスへの「入口」に — 下見・施設見学・新規利用につながるケースも複数発生

デイサービスと地域交流の風景

EVENTS



CEREMONY

5/23 オープニングセレモニー

134名出席













CARE

「今日はこれをしたい」を大切に

自己決定を尊重した活動・誕生日にはケーキとカードを贈呈

FOOD

お弁当・惣菜の持ち帰り対応

独居の方の在宅生活継続支援にもつながる

LEARN

鹿追町「れんがの家」視察

12/13 認知症対応型デイと地域カフェ併設事例を学ぶ

CHAPTER 09

総 括 | 次年度へつなぐ

**設立50周年という大きな節目を迎え、改めて
地域の皆様との「つながり」の尊さを実感しております。**

ACHIEVEMENTS

本年度の成果

50周年式典・祝祭の挙行と地域への感謝発信
新理念・清光園版SDGsの策定と運用開始
Lien Village なんそらの開設（栗山町）
キッチンカーの導入
身体拘束ゼロ・看取りケアの継続
ICT化・eラーニング導入で生産性向上

NEXT YEAR

令和8年度へ

「相手を知ること」の原点に立ち返る
多様性を尊重した職場づくりの推進
BCP・防災訓練の実践的強化
地域カフェ・キッチンカーで世代を超えた交流
法人連携のワンストップサービス深化
50周年は **「発進」** の合図

新たな一歩を、夕張のまちと共に。

社会福祉法人 清 光 園